令和4年度地方創生拠点整備交付金事業評価資料

令和5年6月



令和4年度地方創生拠点整備交付金事業(評価資料)

事業名 海洋堂ホビー館四万十リニューアル事業 交付金活用年度 令和3年度

1. 地方創生として目指す将来像

四万十川の価値を構築している「水産資源」「自然環境」「流域に暮らす人々」について、それぞれを後世まで引き継ぎ、持続的に活用することができるようにするため、四万十川流域の環境の保全に努めるとともに、学校や地域と連携し、川の学習やふるさと教育に取り組むなど、地域の担い手となる人材の確保に努めていくこととしている。

また、そうした取り組みと合わせて、四万十川流域の観光施設についても、四万十川ジップラインやカヌー・ラフティング等の体験型観光メニューの充実や、キャンプ場の計画的な改修を行うことで、集客力の向上を図っていく計画であるが、その中で最も集客力の高い本町の観光拠点である海洋堂ホビー館の改修を行うことで、集客力と顧客満足度の向上により、観光客の増加に繋げていくとともに、その他の四万十川流域の観光施設や町内の飲食店等と連携した観光メニューの提案を行うなど、地域経済の活性化とにぎわいの創出に努める。

2. 地方創生の実現における構造的な課題

【構造的な課題】

当町は四万十川の中流域に位置しており、また町のほぼ真ん中を東西に四万十川が流れている。その位置関係や「最後の清流」としての四万十川のイメージにより、町の主要産業である農業や観光に関して重要な関わりがあるほか、移住促進やふるさと納税などの施策においてもその好印象と抜群の知名度により大きな影響を与えており、近年は移住相談件数やふるさと納税による納税者数も増加している。

しかしながら、この四万十川において、近年は水産資源が激減し漁獲量が30年前から半減以下に低下し、観光面では地理的条件の不利(高知市内や高知空港からの移動距離の遠さ)や県内の他の河川での積極的な観光誘致活動による観光客の分散化などによる集客力の低下、四万十川を活用した学習機会や遊ぶ場面の減少、環境面では特に観光シーズンである夏季の河川水の透明度の悪化、農業濁水や河川流出ごみの抑制などの課題が山積している。また、流域の内水面漁協が5漁協あるなど、関係者や関係機関が多いため連携や合意形成が困難であった。

人口移動(国勢調査ベース)においても、男女ともに、10~14歳から15~19歳になるとき、及び15~19歳から20~24歳から25~29歳になるときに大幅な転出超過となっており、高校や大学への進学に伴う転出の影響が考えられる。一方で、20~24歳から25~29歳になる男性のみ若干の転入超過が見られるが、それ以外は男性・女性ともに40代後半まで転出超過となっている。出生数においてもここ数年間は毎年100人を下回っているため、社会減・自然減に対する施策についても早急な対応が必要である。

3. KPI (重要業績評価指標)

KPIの内容	単位	当初値	R3	R4	R5	R6	R7
施設入館者数	人	33,697	33,697	36,997	40,297	43,597	46,897
			22,236	26,542			
10人を超える団体客の受入	件	40	40	44	48	52	56
件数			26	39			
物販による売り上げの拡大	円 18,92	18,927,331	18,927,331	19,873,331	20,819,331	21,765,331	22,711,331
(ガチャ含む)		10,727,331	13,496,746	14,336,644			

[※]下段は実績値

4. 交付金を活用した事業概要

事業名	海洋堂ホビー館リニューアル事業				
所管課	にぎわい創出課				
ハード整備事業費	49,971,900円	うち国庫補助金	23,765,000円		
効果促進事業費	6,327,085円	うち国庫補助金	3,163,542円		
計	56,298,985円	計	26,928,542円		

事業内容	休憩機能と物販機能を目的としたスペースを1階施設入口に整備するとともに、団体受入等を可
	能とするための交流スペースを2階に整備した。
成 果	・休憩機能と物販機能を目的としたスペースを当該施設入口に整備したことで、有料のフィギュア
	展示スペースを利用しない方でも自由に休憩が可能となった。また、家族や友人など入館者を待つ
	際の待機場所や、物販の購入のみを目的とする利用に対応することとなり、快適性と利便性が向上
	した。
	・2階の収蔵スペースを改修し、多目的交流スペースとして整備したことで、おもに団体客に対し、
	ジオラマづくりやフィギュアに関する講義などの活動スペース、荷物置場や待機所、団体飲食ス
	ペースなど幅広い目的での利用が可能となった。

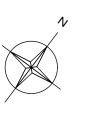
5. 令和4年度の施設の活用状況等

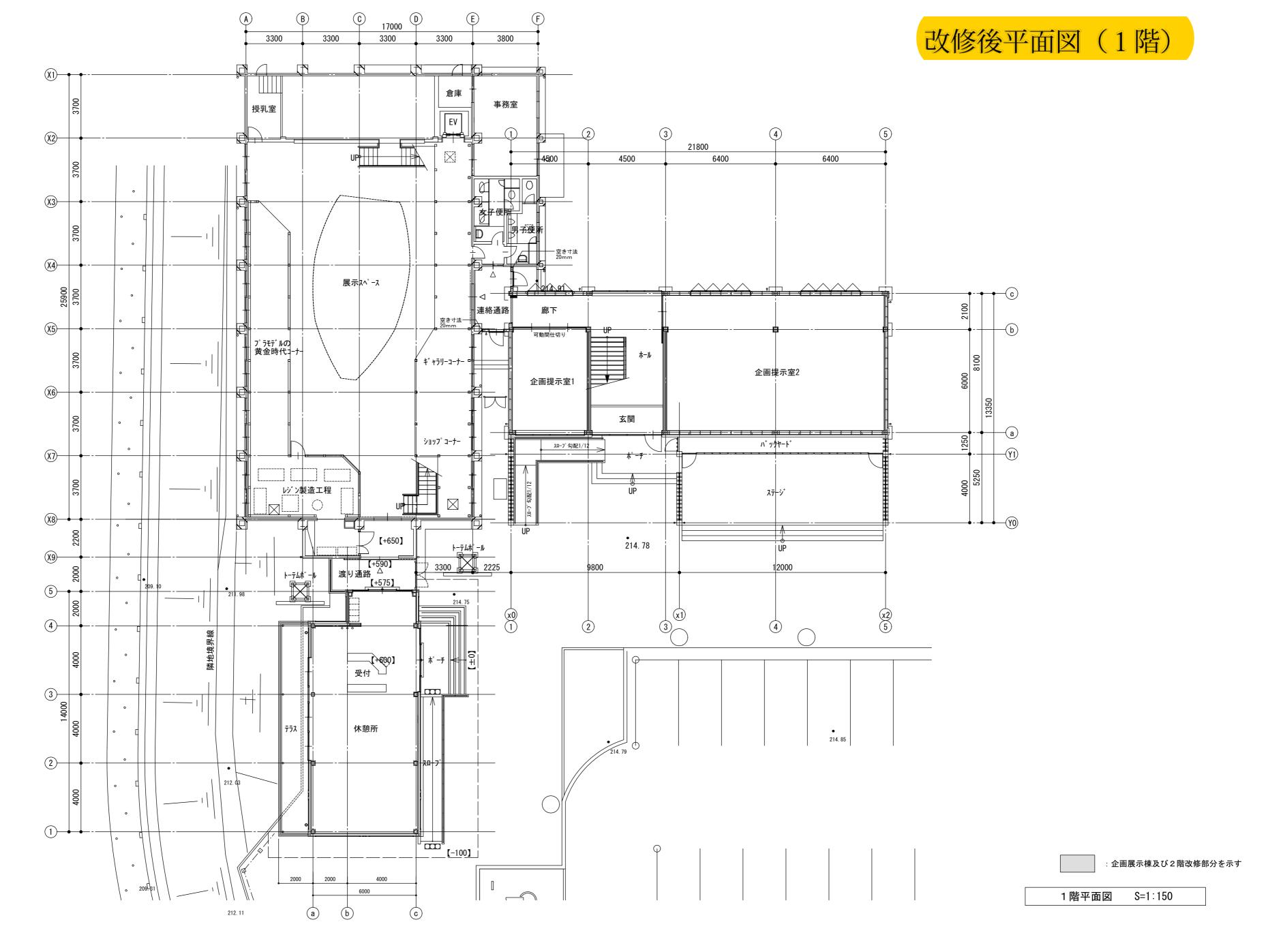
【KPIの達成状況又は目標達成のために実施した取組等】

1階のスペースを設けたことにより物販による売り上げも上昇している。また、2階の多目的交流スペースにおいてジオラマ教室を開催したことにより、10人を超える団体客については昨年の1.5倍の受け入れをすることが出来た。 入館者数を増加させるために、不思議の国のアリスをテーマとした企画展を開催した。令和4年8月には、来場者数50万人を突破し、10月に感謝祭もおこなった。

【今後の課題及び対策】

物販機能をもつスペースを設けているが売り上げの拡大については微小であり、今後は品数を増やしたりレイアウトを工夫するなど強化していきたい。企画展については、テーマが来客数に直接影響するので今後のテーマについては指定管理者である奇想天外と十分に協議していく必要がある。

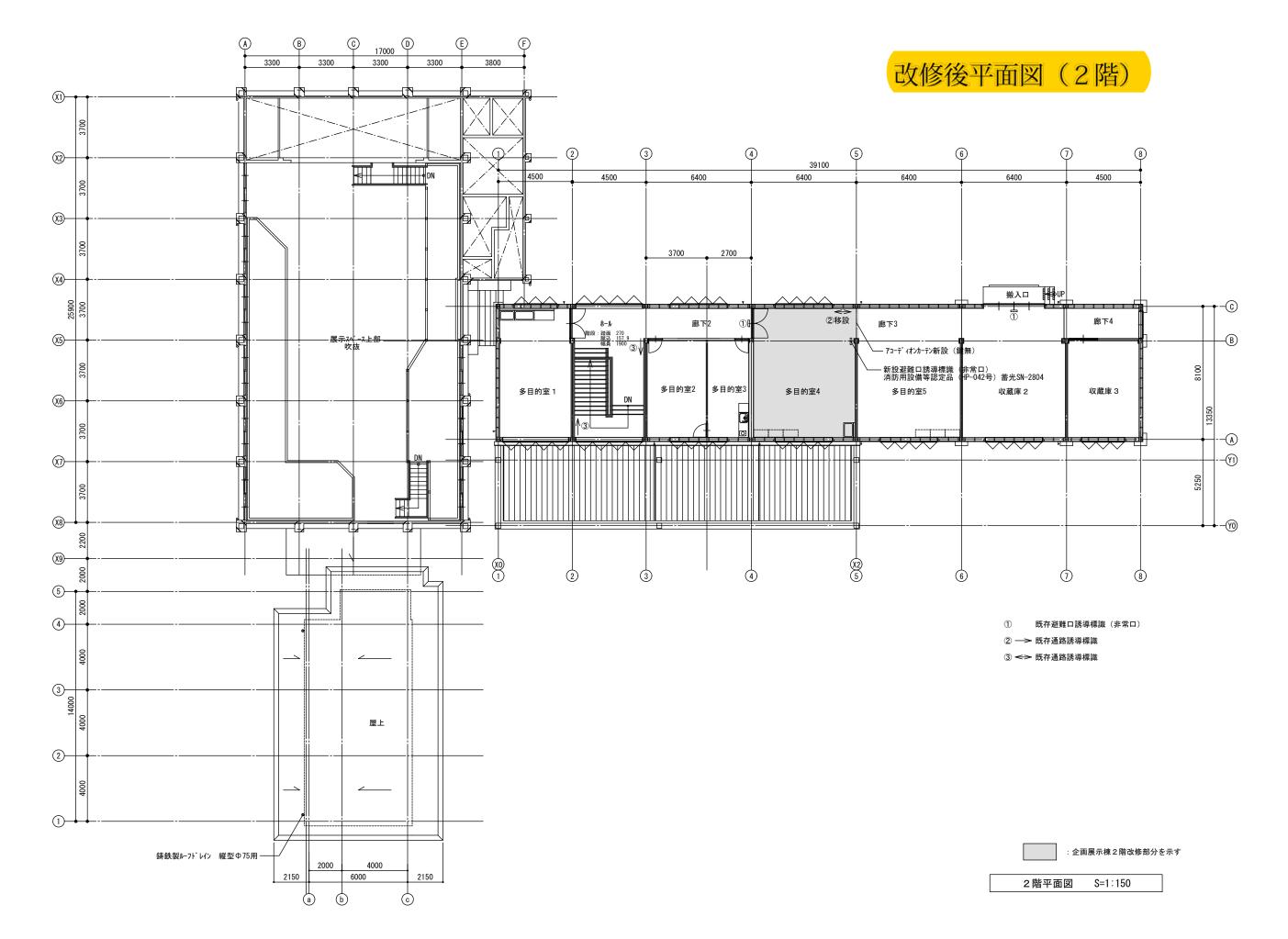




 本部
 令和3年度海洋堂ホビー館四万十改修工事(建築主体)
 Draw
 Check
 作成年月日
 川 株式会社 若竹まちづくり研究所
 図面番号

 図面名称
 1階平面図
 1階平面図
 編 尺 S=1/150
 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号
 A-18

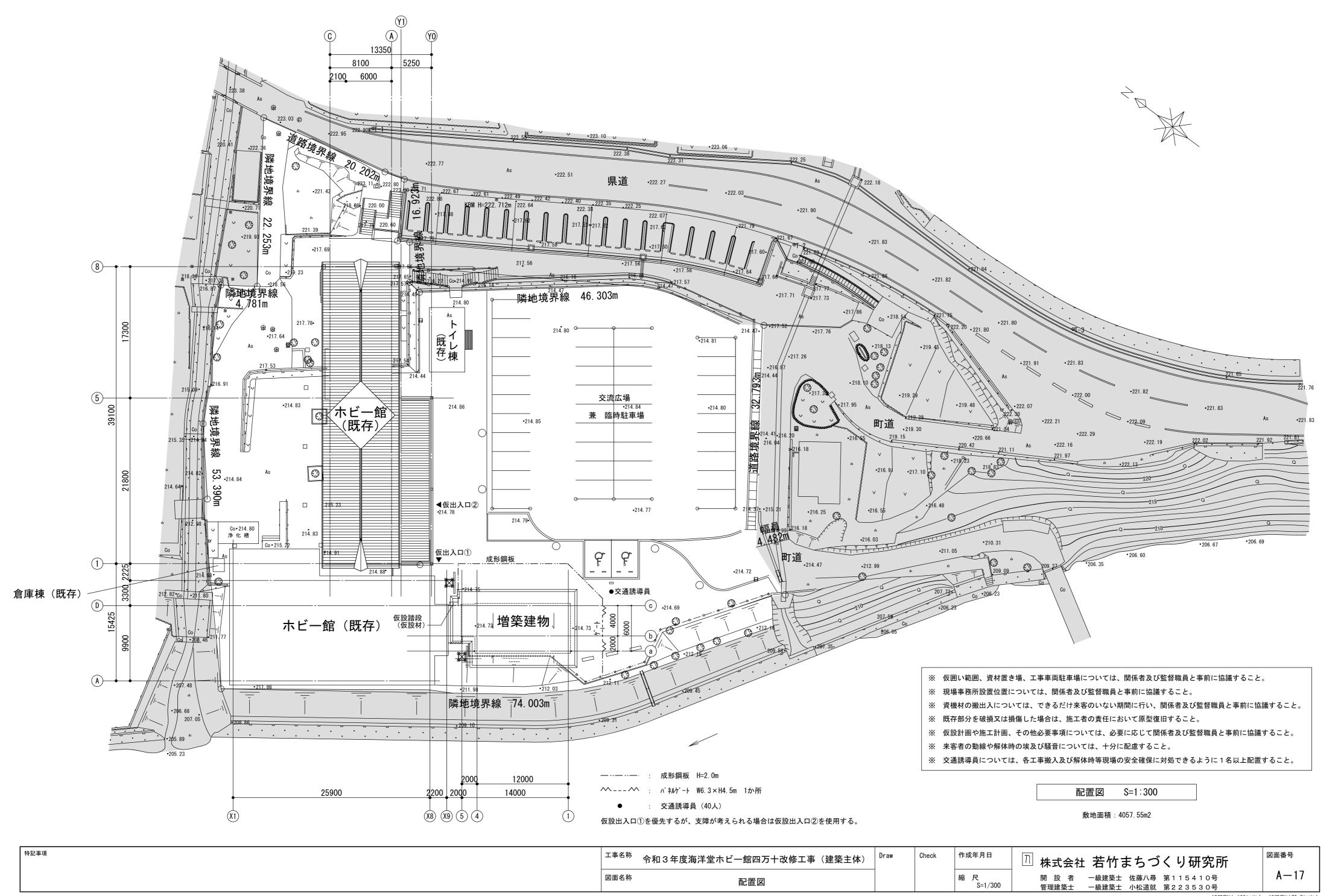




 本名称
 令和3年度海洋堂ホビー館四万十改修工事(建築主体)
 Draw
 Check
 作成年月日
 一
 株式会社 若竹まちづくり研究所
 図面番号

 図面名称
 2階平面図
 2階平面図
 縮尺 S=1/150
 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号
 A-19

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



ホビー館改修写真(1 階増築部分)







2階交流スペース





■現況写真(休憩・物販スペース:1階増築部分)















山・川・海 自然が 人が元気です 四万十町

令和4年度地方創生拠点整備交付金評価資料

令和5年6月作成

四万十町企画課

〒786-8501 高知県高岡郡四万十町琴平町16-17

